

インターネットトラブル事例①

～無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ～

うっかり「？」をつけ忘れたために



クラスの仲よし数人でやっているグループトーク。Bさんは、書き込みの最後に「？」をつけ忘れたまま、スマホを置いてお風呂に入ってしまった。

一方的にグループから外されてしまった



お風呂上りにスマホを見ると、「ひどい！」などの書き込みが。誤解を解こうとしても、反応なし。Bさん以外のメンバーは別グループを作り、Bさんを外したのです。

考えてみよう! 会話の流れが速いために、ちょっとしたことで誤解や感情の行き違いが生じやすいグループトーク。いじめやトラブルが起きないために、できることはありますか？

A. 文字だけの会話だから

「？」と「！」では意味が真逆になることもある文字の会話。こういった記号、スタンプ、(^_^)のような顔文字などを巧みに使って、みんなに正しく伝わるようにすることが大切です。

B. 早くて複雑な会話だから

グループトークはテンポが速く、複数の会話が並行して飛び交います。途中参加をすると、流れをつかむのは至難の業。でも、曖昧な状態での会話はトラブルの火種になるのです。

C. ムカツ！イラッ！としたら

どんな会話でも、嫌な気持ちになることはあります。そんなときは感情をすぐにぶつけず、一呼吸して考えて。文字だとケンカになりそうなら、電話で話してみるのも良い方法です。

解説 グループトークに起因するトラブルも、パターンはさまざま

無料通話アプリのグループトークで生じる「いじめ」や「仲間外れ」は、地域を問わず課題となっています。特定の子に対し、その子の発言だけ無視する、その子にとって不快な写真や動画をグループで共有する、その子以外とグループを作り悪口を言う、その子をグループから突然外すなどがあり、何気ない出来事からいじめに発展することも少なくありません。メンバーでなければ会話の内容を読むことができないため、**トラブルの発見が遅れがち**。日々の様子や会話から子供の変化に気付くこと、これが早期発見や解決につながります。

ワンポイント アドバイス

周囲と違う意見が言いづらい雰囲気(同調圧力)が、いじめに発展するケースも。「空気を読む」ことの功罪を考え、思いやりの心を育てましょう。

《総務省「インターネットトラブル事例集(平成29年度版)」を加工して作成》

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

電話：0776-20-0745(直通) メール：kenan@pref.fukui.lg.jp